はじめに

あなたは困っている人がそばにいたらどう行動しますか？　もし、その人が病気で苦しんでいたらどうしますか？
手を差し伸べる。助ける。そこに理由や条件などいらない。そう語った哲学者がいました。
困っている人が自分だったら。自分が難民の一人だったら。もし紛争地域で生まれていたら…。少しでもそんなふうに想像力を働かせると世界は違って見えてきます。そして生きている不思議、生まれ、死んでいく不思議を考えるようになります。

空想から科学が生まれ、想像から自由や理想が生まれると言われます。そしてここにいる自分って誰？と深く考えることで人と人の境界がなくなり、世界の壁が消えて真の自由が得られると哲学者は語りました。

世界で起こるいろいろな出来事は、じつは日々自分の心の中で起きている出来事だという考え方があります。自分がここにいて、考え、想像しなければ世界も存在しません。

さまざまな出来事を、自分の心の目で見て、冷静に考える。想像力は可能性を引き出します。それを信じて一歩前へ踏み出してみる。その一歩の勇気が、二歩、三歩となって、やがて大きな飛躍へとつながります。

藤井聡太……6
芦田愛菜……8
王貞治……10
内藤大助……12
清水ミチコ……14
尾木直樹……16
黒柳徹子……18
桐生祥秀……20
天海祐希……22
馳星周……24
曽野綾子……26
角田光代……28
ヒロシ……30
グレタ・トゥンベリ……32
カズレーザー……34
鴻上尚史……36

藤岡弘、……40
阿部寛……42
仲間由紀恵……44
山本美憂……46
明日華……48
毛利衛……50
朝吹真理子……52
マルクス・ガブリエル……54
津田梅子……56
佐藤栄作……58
川端康成……60
利根川進……62
大江健三郎……64
中村修二……66
大村智……68
本庶佑……70
佐藤勝彦……72
ジャック・アタリ……74
今西錦司……78
ダレノガレ明美……80
秦由加子……82
伊達政宗……84
ダライ・ラマ14世……86
河瀬直美……88
三浦しをん……90
南方熊楠……92
中沢新一……94
井筒俊彦……96
小松左京……98
アーサー・C・クラーク……100
鴻巣友季子……102
塩沼亮潤……104
サヘル・ローズ……106
緒方貞子……108

まだまだわからないことばかり。
これからも探求心を持って臨みたい。

藤井聡太

2002〜
将棋棋士、2020年「棋聖」「王位」

2020年7月17日、新型コロナウイルスの悲しいニュースばかりだった新聞やテレビの報道に、久しぶりに明るい話題がトップニュースとして報じられました。将棋の藤井聡太7段が『棋聖戦』を制して、史上最年少の17歳11か月でタイトルを獲得、『棋聖』となったのです。そして、1か月後の8月20日には『王位』も奪取して2冠、8段昇段を果たしました。

将棋のタイトルには、『名人』『王将』『竜王』『叡王』『王位』『棋聖』『王座』『棋王』があって、それぞれのタイトルを賭けて棋士たちがしのぎを削っています。

藤井2冠は、棋聖戦を制した翌日の記者会見で〝探求〟と書かれた色紙を手にテーマの言葉を語りました。まさに彼は、将棋の宇宙を探求する学者のようです。

最近、将棋の世界では、棋士たちがAIを活用して無駄のない効率的な手を打つようになったそうですが、「AI世代」の藤井さんは、AIの思考力を採り入れながら、時にAIを超えた前人未踏の領域に足を踏み入れようとしていると、羽生善治永世9段は語っています。AIはサイバー空間で将棋はリアルな空間。あくまでも柔軟な発想力や思考力が勝負を左右する人間世界なのです。